

第2回北薩トンネル技術検討委員会 議事要旨

- 1 日時:令和6年11月20日(水) 14:00~16:00
- 2 場所:(会議)鹿児島県庁 18階特別会議室 (WEB会議併用)
- 3 出席者(敬称略)
 - 委員長:酒匂 一成 (鹿児島大学)
 - 委員:砂金 伸治 (東京都立大学)
 - 大島 洋志 (一般社団法人 日本応用地質学会)
 - 田口 幸洋 (福岡大学)
 - 西垣 誠 (岡山大学)
 - 藤田 智弘 (国土技術政策総合研究所)
 - 安仲 努 (国土交通省九州地方整備局)

4 議事要旨

- ・ 第1回委員会以降,被災箇所には顕著な変動が見られないことを確認した。
- ・ 水抜き工については,出水側坑口から見て被災箇所の右側に水抜き導坑及び水抜きボーリングを実施すること,施工にあたっては導坑及び本坑の内空変位等の計測管理を実施することを確認した。
- ・ 水抜き導坑施工後の湧水量推定については,直近までの降雨データを用いて推定する手法も一つの方法であることを確認した。
併せて,水抜き導坑施工時の湧水量も踏まえて整理することとの意見があった。
- ・ 今後の調査については,水文観測,トンネル状態を確認するための間隙水圧計設置や湧水量観測,水抜き導坑からの空洞調査を実施することを確認した。